

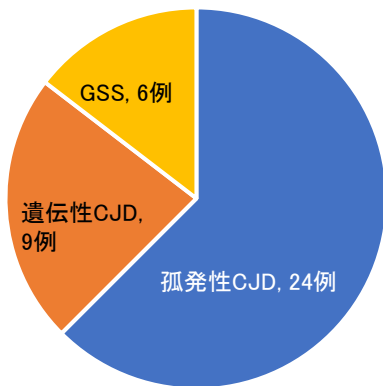
九州・山口・沖縄地区におけるプリオン病の疫学調査報告

研究分担者：九州大学病院脳神経内科 眞崎勝久

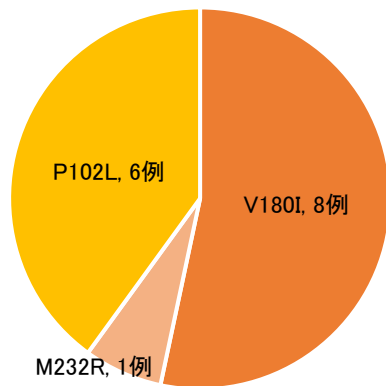
2025年度のサーベイランス状況(46例)

	sCJD	gCJD	GSS	否定・その他
山口	5	2	0	0
福岡	7	3	3	6
佐賀	1	1	3	0
長崎	2	0	0	0
熊本	2	1	0	0
大分	3	1	0	1
宮崎	0	0	0	0
鹿児島	1	0	0	0
沖縄	3	1	0	0
合計	24例	9例	6例	7例

プリオン病の内訳

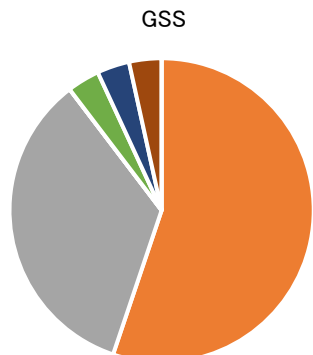
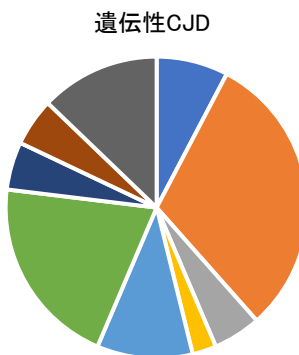
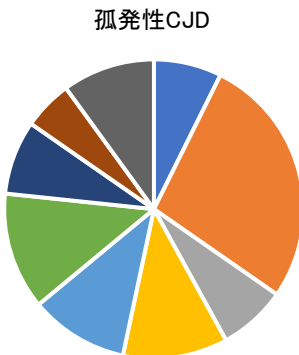


遺伝性プリオン病 変異の内訳



直近6年間(2020-2025)での県別報告数

	sCJD	gCJD	GSS
山口	11	3	0
福岡	41	12	16
佐賀	11	2	10
長崎	17	1	0
熊本	16	4	0
大分	19	8	1
宮崎	12	2	1
鹿児島	8	2	1
沖縄	15	5	0
合計	150例	39例	29例



GSSは福岡県16例、佐賀県10例、大分県1例、宮崎県1例、鹿児島県1例、その他の県は0例であった

解 説

- 2025年度において九州・山口・沖縄地区の46例プリオン病疑い症例について調査を行い、サーベイランス委員会で報告した。
- 39例がプリオン病と判断され孤発性CJDの割合が61.6%(24例)、遺伝性CJDが23%(9例)、GSSが15.4%(6例)であった。
- GSSは直近6年間でも福岡県、佐賀県からの報告例が多く、既報告と同様に有明海沿岸部など集積性がある可能性が示唆された。